

＜平成30年2月16日記者会見 予算概要市長コメント＞

平成30年度予算の編成作業が、このほど終了いたしましたので、その概要についてご説明いたします。

明年度予算は、4月に市長選挙を控えておりますことから、いわゆる「骨格予算」を編成してきたところであり、そのため、予算の内容については、社会保障関係経費をはじめとする義務的経費や、公営住宅建設工事などの継続事業が中心となっております。

今回は「予算編成における重点」を設定していませんので、総合計画の体系区分に基づいて「平成30年度 予算のポイント」をご説明します。

はじめに、「健康でやすらぐまち」では、

児童保育センターの入所児童数の増加に伴い、柏分室、光南分室、森の里、大空、川西に5クラブを追加で設置するものです。森の里と川西を除く3施設については、平成29年度の3月補正予算で施設整備費を計上するものです。

また、平成31年4月に民間移管するひばり保育所の円滑な移管に向け、派遣保育士の人件費に対する支援や施設整備などを行うものです。

次に「活力あふれるまち」では、

4年ごとに開催されている国際農業機械展について、主催者に対して補助を行っていくものです。

西3・9周辺地区市街地再開発事業については、旧イトーヨーカドービルや旧中央・中央第2駐車場の解体のほか、分譲マンション棟や事務所・駐車場棟の新築に対して補助を行っていくものです。

十勝アウトドア観光情報提供事業については、平成30年5月から供用開始を予定している「バスターミナルおびくる」において、十勝の体験・滞在型観光の魅力を発信するため、アウトドアグッズの展示などを行っていくものです。

観光資源魅力向上事業は、平成30年度からテレビドラマのロケーション撮影が十勝管内で開始されることを受け、十勝の観光資源である「農業・食・自然」などの地域の魅力を発信するため、撮影の受入を支援するものです。

次に「自然と共生するまち」では、

アライグマ防除対策事業として、近年増殖するアライグマによる生態系への影響や農業等被害の拡大を受け、冬から春にかけては繁殖・活動区域を対象とし、夏から秋にかけては農業被害の発生地点を対象として、

箱ワナ設置によりアライグマの捕獲を行っていくものです。

次に「快適で住みよいまち」では、

とかち帯広空港の滑走路・灯火等改良事業として、改良に向け、基本設計や実施設計を行っていくものです。

次に「生涯にわたる学びのまち」では、

外国語指導講師（ALT）を1名増員し、平成32年度からの次期学習指導要領における小学校での英語活動・授業の時間数の増加に対応するものです。

文化ホール施設整備事業については、六花亭製菓株式会社様より寄贈いただいた大ホール椅子の設置に合わせ、既存椅子の撤去及び床の張替え、客席誘導灯の更新や車椅子スペースの確保など施設改修を行うものです。

最後に予算規模については、

一般会計は、	818 億 9,600 万円	であり、前年度対比 2.3%の減、
特別会計は合計で、	556 億 7,553 万 9 千円	であり、前年度対比 2.2%の増、
企業会計は2会計で、	145 億 1,938 万 1 千円	であり、前年度対比 0.4%の減、
全会計で	1,520 億 9,092 万円	であり、前年度対比 0.5%の減

となっています。

各会計別の予算規模及び事業の詳細につきましては、お手元の資料をご覧ください。

なお、これらの予算につきましては、3月1日招集予定の議会に提案し、ご審議いただくことになっています。